

教科(科目)	公民(倫理)	単位数	2単位	学年(コース)	6学年(国際文化コース)
使用教科書	清水書院『高等学校 新倫理』				
副教材等	第一学習社『テオリア 最新 倫理資料集 2024』、東京書籍『要点マスター 倫理 整理と演習』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身につけ、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

<p>1. 「人間とは何か」「人間としていかに生きるべきか」という課題の探究と、世界観・人生観の形成を目的とする。</p> <p>2. 人類は長い歴史の中で優れた思想を生み出してきた。これらを手がかりに、自分自身の主体的問題としてとらえ、よりよい生き方とは何かを考え、可能性を追究する姿勢を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>①世の中で起こっている事象に対して自ら興味関心を持ち、考えることができる。</p> <p>②ニュースを見たり新聞を読んだりして、現代社会で生じている諸問題について倫理的な観点から理解し、課題を解決する方法が見つけられる。</p> <p>③様々なメディアを通じて情報を獲得し、的確に活用・判断できる。</p> <p>④大学入学共通テストに対応できる学力が身についている。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について理解と思索を深めようとしている。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的現象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 ・小テスト などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	人間としての自覚	古代ギリシアや古代中国の思想家 世界三大宗教	古代ギリシアや中国の先哲の思想や宗教・芸術の意義を理解し、人間とは何かという思索を深める。	6	評価シート 提出物
5	現代をかたちづくる倫理	ルネサンス以降の西洋思想	現代社会の特質と倫理的課題について考察し、民主社会における人間の在り方について理解を深める。	20	評価シート 定期考査 提出物
6					
7					
8	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本思想	日本の風土と外来思想の受容について歴史的意義を理解し、国際社会に生きる日本人としての自覚を深める。	12	評価シート
9					
10	現代における諸課題の探求	地球環境問題 生命倫理 戦争と平和	生命と環境、家族と地域社会、異文化理解など、現代社会の諸問題について理解を深め、倫理的な観点から問題解決の方法を探る。	18	評価シート 定期考査 提出物
11					
12					
1	現代を生きる自己の課題	個性的な主体としての自己 心と行動をめぐる探求	卒業を見据えて、現代社会に生きる青年としての自らの在り方・生き方を主体的に思索する。	14	評価シート 提出物
2					
3					

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 ・小テスト ・評価シート

8 担当者からの一言

<p>「倫理」は、不条理な世界で生きる人間が、人間としてどう生きるべきか、そもそも生きるとはなんなのか、を深く考える科目です。先哲の思想に触れ、知識・理解を深めるだけでなく、自分の人生についておもいっきり考え、上記の疑問に対する自分なりの答えを探し、自らの生き方を切り開いていく力をつけてください。</p> <p style="text-align: right;">(担当：小原沢 公啓)</p>
